

ベナン月報(2015年3月)

主な出来事

【内政】

- 2日, 指導監督評議会(COS/LEPI)は, 2015年に行われる選挙の有権者数は 4,470,591人, 投票所の数は 7908 で確定したことを発表した。
- 4日, COS/LEPI から独立国家選挙管理委員会(CENA)への, 恒久電子化選挙人名簿(LEPI)引き渡しが行われた
- 16日, 国民議会で選挙法の改正が採択された(選挙コーディネーター選出に関わる28条, 候補者の重複立候補を禁止する392条, 候補者のフランス語読み書き能力に関する393条及び立候補に際して必要な書類に関する465条)。

【経済】

- 3-6日, 日本の幕張メッセでFOODEX2015が開催され, ベナンからは Label Bénin, Kaké 5 及び Promo Fruit Bénin の三社が参加した。
- 19日, ヤイ大統領はニジェールのイスフ(M. Mahamadou Issoufou) 大統領とともに, コトヌ・パラク間鉄道網整備工事の起工式に出席した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L' Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 複数の有力候補者が与党 FCBE から離党。レアディ・ソグロ氏(M. Léhady V. SOGLO)が総裁を務める野党 RB-RP からの出馬を表明している。(2日, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 1日, チャウル市で綿花を運搬中のトラックが電線に接触して火災が発生, 約22トンの綿花が焼失した。(2日, Le Matinal 紙)
- ・ 2日, マランヴィル市で身元不明の女性の焼死体が発見された。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 2日, 指導監督評議会(COS/LEPI)は, 2015年に行われる選挙の有権者数は 4,470,591人, 投票所の数は 7908 で確定したことを発表した。(3日, La Nation 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 3日, 幼児・初等教育労働組合連合は72時間のストライキを開始した。(4日 La Nation 紙, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 4日, COS/LEPIから独立国家選挙管理委員会(CENA)への, 恒久電子化選挙人名簿(LEPI)引き渡しが行われた。(5日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 7日, ヤイ大統領はポルト・ノヴォに建設されたレジャーランドの竣工式に出席した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 8日, コトヌ市で国際女性デーを記念したフォーラムが開催され, ヤイ大統領の他, 国際機関や各国の外交団の代表が参加した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 9日, フンス・ゲデ(M. Patrice HOUNSOU-GUEDE)アボメイ・カラビ市長が与党 FCBE からの

離党を表明。同氏は野党 AND からの立候補を検討している。(10日, Le Matinal 紙)

- ・ 10日, ダッサ市のケレ地区でプル族の遊牧民と地域住民の闘争が発生, 1名が死亡, 数人が重傷を負った。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, 臨時国会が開会し, イスラム開発銀行からの約230億 FCFA の借款協定(バニコアラ・ブルキナファソ国境間の道路の舗装計画), ECOWAS 開発銀行からの40億FCFAの借款協定(パラク・ジュグ間の道路の舗装計画)が批准された。(11日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 10-11日, ニッキ市及びペレレ市の綿花倉庫で火災が発生, 約20トンの綿花が焼失した。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 12日, 臨時国会で計4つの援助協定, 合計1000億 FCFA が批准された。(13日, La Nation 紙)
- ・ 14日, ナゴ (Dr. Mathurin NAGO)国民議会議長は, 自らが総裁を務める新政党, FDU (L' Alliance Forces démocratiques unies) の結党式に出席した。この政党は与党 FCBE の同盟だった4つの政党を再統合したものであり, 政府が国会に提出した憲法改正法案に反対の立場を示している。(16日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 14日, パラク市にある密輸ガソリンの倉庫から火災が発生。25リットル入りのタンク数百本が焼失した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 14日, ダッサ市で無理な追い越しをしようとした車が対向車と正面衝突し, 2名が死亡, 1名が重傷を負った。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 15日, ヤイ大統領はコメ市の道路舗装工事の起工式に出席した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 国民議会で選挙法の改正が採択された(選挙コーディネーター選出に関わる28条, 候補者の重複立候補を禁止する392条, 候補者のフランス語読み書き能力に関する393条及び立候補に際して必要な書類に関する465条)。(17日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Autre Quotidien 紙, 18日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 16日, コトヌ市で教職員労働組合連合とベナン政府の団体交渉が行われ, 一部労組と9月以降に1万 FCFA の臨時ボーナスを支給することで合意した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, アボメイ・カラビ市で武装強盗が発生。3名の強盗のうち2名は逮捕されたが, 1名が逃走中。(23日, La Nation 紙)
- ・ 30日より地方議会(市議会)の立候補者登録が開始され, 登録期間は4月5日まで。また, 村議会及び地区議会の候補者登録は, 4月5日から9日まで。(24日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ウェメ県ウィニ市において, 軍関係者などを乗せた憲兵隊の車列が銃撃された。1名が死亡し, 2名が重傷を負った。(24日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, パラク市でナイジェリア国籍の両替商の自宅に4人組の武装強盗が襲撃。両替商はカラシニコフにより銃撃を受けた後ナタで体を切断され死亡。家の中の金品が持ち去られた。(26日, Le Matinal 紙, 27日, La Nation 紙)

- ・ 26日、アタコラ県タンギエタ市を走る国道3号線でブルキナファソから牛を輸送中のトラックが横転、横転しそうなトラックを立て直そうとしていた運転手見習い1人が死亡、その他数名が重傷を負った。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 26日、コトヌ市で5人の中学生がロシア製の拳銃の弾丸の密売の容疑で逮捕された。警察は、武器の密売ネットワークに中学生が含まれていることについて重く受け止め、今後も調査を継続する方針。(27日, La Nation 紙, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 30日、COS/LEPI は有権者 ID カードについて、現在4, 470, 591枚の印刷が終了しラミネート作業に入っており、4月8日から全国で配布を開始することを発表した。(31日, La Nation 紙)

【外政】

- ・ 5日、第8回凡アフリカ議会がガーナのアクラで開催され、ヤイ大統領が出席した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 21日、コンゴ共和国のヨカ (M. Aimé-Emmanuel YOKA) 法務大臣がコトヌを訪れ、ヤイ大統領と会談を行った。(23日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ (2月27日)、コトヌ自治港に過去最大サイズの貨物船(全長254メートル、重量16, 353トン)が着岸した。これは、コトヌ港開発のための投資の結果であり、3月中に同タイプの船6隻の着岸が予定されている。(3日, La Nation 紙, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 3-6日、日本の幕張メッセで FOODEX2015 が開催され、ベナンからは Label Bénin, Kaké 5 及び Promo Fruit Bénin の三社が参加した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 3日 Gasol 社(英系企業)の代表がヤイ大統領を訪問し、マリア・グレタ発電所の稼働に向けて天然ガスを供給する準備ができているとした。(4日 La Nation 紙)
- ・ 5日、塚原駐ベナン日本国大使は、ボバ市で「ドド D 小学校建設計画」にかかる贈与契約に署名した。供与額は2500万 FCFA 以上にのぼる。(6日, La Nation 紙, 10日, Le Matinal 紙)
- ・ 11日、ヤイ大統領は、アボメイ・カラビ市において職業訓練や産業を含む複合施設の起工式に出席した。この計画は、韓国の NGO・IYF の投資によるもので、総工費は200億 FCFA に上る。(12日, La Nation 紙)
- ・ 12日、アボメイ・カラビ大学において、同大学と日本の鹿児島大学の共同研究の成果発表が行われた。発表によると、魚粉を使用せず内水面養殖の餌料を生産することが可能だという。(13日, La Nation 紙)
- ・ 17日、世銀はベナンの民間セクター開発のため、100億 FCFA の支援を決定した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 19日、ヤイ大統領はニジェールのイスフ (M. Mahamadou Issoufou) 大統領とともに、コトヌ・

パラク間鉄道網整備工事の起工式に出席した。(20日, La Nation 紙, L' Autre Quotidien 紙)

- ・ 26日, ヤイ大統領はニヤシンベ (M.Faure GNASSINGBE) トーゴ大統領と共に, トーゴ北部のソコデ市における変電所の開所式に出席した。この変電所は, 中国のエクシム銀行 (Eximbank)によるトーゴ政府への約120億 FCFA の借款で建設され, トーゴのソコデ市からベナン北部のカラ市への電力の共有を増強するものである。(30日, La Nation 紙)
- ・ 30日, ベナン政府とアラブ・アフリカ経済開発銀行 (BADEA)は, ベナンにおける数学と物理学の研究推進のため, 500万米ドルの借款協定に同意した。(31日, La Nation 紙)
- ・ ベナンにおいて大豆の生産量が大きく上昇している。ベナン政府は大豆農業の推進に重点を置いていないものの, ベナンにおける大豆の生産量は過去10年で10倍にも達しており, 近年では重要な換金作物となっている。(31日, La Nation 紙)